

令和3年3月25日

川西市議会議長

平岡 譲 様

総務生活常任委員長

坂口 美佳

委員会報告書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、別紙のとおり決定したので、会議規則第101条の規定により報告します。

総務生活常任委員会における審査の経過と結果について（審査日 令和3年3月3日）

1．議案第1号 兵庫県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び兵庫県市町村職員退職手当組合同規約の一部を変更する協議について

<p>議案の概要</p> <p>本案は、兵庫県市町村退職手当を組織する北播磨清掃事務組合が同退職手当組合から脱退すること、並びに市川町外三ヶ市町共有財産事務組合が同退職手当組合に加入することに伴い、規約の変更を行う協議について、地方自治法第290条の規定により、議会の議決を求めようとするもの。</p>
<p>質疑の概要</p> <p>問 今回脱退する団体と加入する団体がそれぞれ1団体であったため、構成団体数に増減はなく、退職手当組合の収支や財政状況等に及ぼす影響がないということであるが、団体の人数規模等による影響はないのか伺いたい。</p> <p>答 加入する団体も脱退する団体も小規模で、加入者も若干名ということであり、組合の財政についても影響がないと退職手当組合から聞き及んでいる。</p>
<p>特記事項 なし</p>
<p>審査結果 原案可決（全員賛成）</p>

2．議案第4号 川西市付属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について

<p>議案の概要</p> <p>本案は、第1次総合戦略である「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略」の計画期間が令和元年度末で終了し、令和2年度から第2次総合戦略がスタートしたことから、「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議」を付属機関から廃止するため、条例の一部を改正しようとするもの。</p>
<p>質疑の概要 なし</p>
<p>特記事項 なし</p>
<p>審査結果 原案可決（全員賛成）</p>

3．議案第7号 公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

<p>議案の概要</p>

本案は、公益的法人等の業務の円滑な実施の確保を図ることを目的に、人的援助として、本市が職員を派遣することができる団体に「公益財団法人 兵庫県まちづくり技術センター」を追加するため、条例の一部を改正しようとするもの。

質疑の概要

問 今回、職員を派遣することができる団体に公益財団法人 兵庫県まちづくり技術センターを追加して職員を派遣するものとするが、同団体を派遣可能な団体にしようとする経緯等の詳細について伺いたい。

答 同センターでは、積算や工事監理などの実務を経験することが可能であり、技術職員の知識や技術力などの向上を図ることができることから、研修としての意味合いで、本市から希望して派遣しようとするものである。このため、本条例に「公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター」を追記し、令和3年度、本市から同センターに技術職員を派遣する考えである。

問 派遣する職員は、具体的にどのような種類の技術職員を想定しているのか。また、派遣に当たっては、職員からの応募、または業務命令により派遣するのか伺いたい。

答 派遣の対象となる職員は、派遣先のプログラムで建設事業の経験年数が5年以上の市職員を派遣するという仕組みになっており、本市では、建築職、土木職が対象となる。

市としては、技術職員の育成が課題と認識しているため、同センターへ職員を派遣することによって技術職員を育成していきたいと考えている。今回、業務の一環として派遣することから、本人からの希望ではなく、業務命令という形に近いものになる。

特記事項 なし

審査結果 原案可決（全員賛成）

4. 議案第15号 令和2年度川西市一般会計補正予算（第11回）

議案の概要

第1表 歳入の全部。歳出第1款議会費。第2款総務費のうち第1項総務管理費第7目公共施設マネジメント費を除く全部。第4款衛生費のうち第1項保健衛生費第6目上水道費、第2項環境衛生費及び第3項清掃費。第6款農林業費。第7款商工費。第8款土木費のうち第3項都市計画費第4目下水道費。第9款消費費。第11款災害復旧費。第12款、第1項公債費のうち第2目利子。

第2表 継続費補正

第3表 繰越明許費補正

第4表 地方債補正

質疑の概要

第1表 歳入

第2款 地方譲与税

問 第4項 航空機燃料譲与税は、当初予算より3億3262万8000円と大きく減額しようとしていることから、当該譲与税を財源としている事業への影響を危惧するが、その取り扱いについて伺いたい。

答 当該譲与税については、新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の影響を受けた航空需要の低迷により、航空会社に対する納税猶予となった部分について減額となっている。納税猶予となった譲与税は、令和3年度の予算に振り替えて収入となることから、今年度は一時的に一般財源で補うこととなるものの、2カ年をトータルすると過不足はない。このため、事業への影響は特にないものと考えている。

第22款 諸収入

問 第3項 貸付金元利収入において、川西都市開発株式会社への貸付金の償還が本年度見込めないことにより、同社からの貸付金償還金を5億円減額しようとしていることから、今回の減額補正に至るまでの同社との協議の経緯を伺いたい。また、全額償還が見込めないとして一部だけでも償還するといった議論はなかったのか。

答 コロナの拡大によって、商環境の変化や通勤客の減少による駐車場収入が減となるなど、会社の収入を巡る環境が大きく変容したことから、当初見込んでいた総額を一度に償還することは困難との判断に至ったものである。また、令和3年度当初予算にもこの償還額は計上しておらず、再度ゼロベースで会社の今後の業績を見据えながら、償還可能となる形態を検討していきたいと考えている。

答 市は、毎月、川西都市開発株式会社と財政状況等について協議し、その結果を庁内でフィードバックして、必要に応じて再度同社と協議することとしており、この情報については四半期ごとに議会に報告を行っている。

市としては、貸付金の確実な償還が主眼であることから、直近の緊急事態宣言後の同社の財務状況を勘案すると、分割での償還ではなく、時間をとりながら交渉することが両者にとって得策であると考え、今回減額補正しようとするものである。このため、令和3年度については、同社の財務状況等を見据えて協議を行っていく考えである。

同 歳出

第2款 総務費

問 広報事業において、市ホームページのトップページのリニューアルや動画作成に係る委託料として300万円を追加しようとしていることから、これら事業内容の詳細について伺いたい。

答 市ホームページのトップページについては、各方面から情報を検索しにくいといった声などを聴いており、少ないクリック数で目的の情報を検索できるようにカテゴリー分けに工夫を凝らすほか、トップページのデザインを見直すなど、検索のしやすさというところに重点を置いてリニューアルを図っていきたいと考えている。

また、動画作成業務については、SNSやホームページ等で情報発信していくにあたり、訴求力の観点で動画が必要不可欠な手段であると考えている。今後、SNSやデジタルサイネージ、市の公式YouTubeチャンネルなどを使い分け、情報発信を効果的に行っていきたい。

問 同事業において、川西能勢口駅前のデジタルサイネージに係る経費として、クラウドサービス利用料で160万円、設置工事費で1100万円を追加しようとしている点をとらえ、事業内容や今後の維持管理経費の考え方について伺いたい。

答 市民への情報は複数の媒体で発信することが重要であり、人通りの多い川西能勢口駅南デッキにデジタルサイネージを2台設置して、より多くの市民に情報を届けたいと考えている。その内容は、通常の市政情報はもとより、イベント情報等のタイムリーな情報を即時に発信していきたい。

この情報発信にあたっては、本庁から遠隔で画面を操作してタイムリーな発信が可能なクラウドサービスも利用できるため、電気使用料等の費用が必要となる。それら維持管理経費については、広告料収入で賄うなど、可能な限り経費負担のない方法を検討していきたいと考えている。

問 庁舎維持管理事業において外壁等改修工事の実施を見送ったことに伴い、工事請負費が2億2815万5000円減額されようとしていることから、実施を見送った要因について伺いたい。

答 本庁舎の外壁工事を実施する際には、庁舎の壁面全てに足場を組み防護ネットを張った状態で半年以上かけ施工することになり、窓を開けても換気効率が著しく低下する恐れがあることから、コロナの収束が見えない中で改修工事を見送る

判断をしたところである。

第7款 商工費

問 商工振興事業において、商店会加盟店舗で使用できるプレミアム付商品券発行事業を実施する経費として、委託料で77万円、負担金、補助及び交付金で1637万6000円が追加されようとしている点をとらえ、現在、プレミアム付商品券を電子で行っていることから、今回の商品券が紙となった経緯について伺いたい。併せて、プレミアム率が電子の場合は50%であったものが、紙では20%となる考え方についても伺いたい。

答 本市の産業振興の方針は、コロナの経験も踏まえて、Eコマース等の電子商取引への対応を図っていくといったことを基本としているため、電子化やキャッシュレス化などの施策を展開していくべきであると考えている。しかしながら、事業者の高齢化などにより電子商取引に対応困難なケースがあることや、電子商取引の多様化により従業員教育等に手が回らないといったことが見えてきたところである。

そこで、昨年秋に紙ベースで実施した際には、地域に密着した商店街と商工会が一丸となり運営され、大変好評を得たことや、事業者も参加しやすい環境にあったことから、今回も紙の券で実施することとしている。

また、プレミアム率については国の財源を活用することで一定の制限があることや、2回目の実施といったことによりプレミアム率20%で行おうとするものである。

問 中小企業支援事業において、つながりづくり事業者支援事業の不用額として、負担金、補助及び交付金を8360万円減額しようとしている点について、コロナ禍において、産業の活性化に資する前向きな支援事業であったと考えることから、事業の実績について伺いたい。また、多額の不用額が発生している点に鑑み、当該事業の周知に係る市の評価も併せて伺いたい。

答 つながりづくり事業者支援事業は、国の持続化給付金の対象とならない事業者を救済するために、昨年1月から6月のいずれかの月の事業収入が前年同月比で20%以上50%未満減少している事業者を対象とした事業で、1社あたり10万円の1000社分として1億円の予算をもって実施したところである。実績としては、186社からの申請に対して164社に支給している。

また、周知については、さまざまな制度が輻輳して創設された時期であったため、事業者には情報が確実に届けられるように定例の広報誌や広報臨時号、ホーム

ページなど市のさまざまな媒体を通じてお知らせするとともに、商工会などの関係団体を通じて、広く周知ができたものと考えている。

問 イベント支援事業において、開催を予定していた第57回清和源氏まつりに係る補助金が追加補正されたものの、2月17日にコロナ感染拡大防止の観点から中止となった点をとらえ、2年連続で中止となったことからイベントが風化することを懸念しており、イベント継続に向けて源氏まつりの周知等に係る市の取り組みを伺いたい。

答 清和源氏まつりについては、歴史あるイベントであることから4月号の広報誌で源氏まつりが開催されている経緯等についてお知らせしたいと考えている。

また、現在動画も作成しているところで、源氏発祥の地である本市をアピールしていくことが大事であると感じており、イベントを再開するときには、盛り上げていきたいと考えている。

第9款 消防費

問 救急活動事業の備品購入費において、救急車オゾン発生装置の購入に要する経費として184万8000円が追加されようとしていることから、購入台数や使用方法等の詳細について伺いたい。

答 オゾン発生装置は予備車を含めた救急自動車6台に設置する予定としており、出勤から消防署に戻るまでの間に救急車内でオゾンガスを発生させ、ウイルスの不活性化を図るといったものである。

第11款 災害復旧費

問 農業用施設等災害復旧事業の工事請負費において、12月補正で可決された加茂地内の久代北台井堰の修繕工事に関して、工事内容を変更することにより400万円が追加されようとしている点をとらえ、変更に至った経緯の詳細について伺いたい。

答 昨年7月の大雨により井堰の土台の部分に大きな穴が空き、現在は大型土のうで仮復旧を行っている状態であるため、12月補正で本復旧に係る経費を議決いただいたところである。その後、河川管理者である猪名川河川事務所等と協議を進めたところ、川床から1メートル深く工作物を根づけするよう指示を受け、土台の高さから約4.4メートル以上掘り進める必要があることから、工法を協議した結果、鋼矢板を差し込む工事が追加されることとなり、当該工事に係る経費を追加補正しようとするものである。

<p>第2表 継続費補正 なし</p> <p>第3表 繰越明許費補正 第8款 土木費 問 744万6000円が繰越されようとする公共交通支援事業のうち、市立川西病院・大和団地バス路線再編検討業務委託の事業内容の詳細について伺いたい。 答 補助路線である市立川西病院・大和団地バス路線に関し、補助金に見合った路線運行を検討するため、地域主体で取り組む業務の側面的支援として、280万円でコンサルティング業務を委託しているもので、今回、地域の協議の進捗に遅れが生じているため繰越ししようとするものである。</p> <p>第4表 地方債補正 なし</p>
<p>特記事項 なし</p>
<p>審査結果 原案可決（賛成多数）</p>

5. 議案第19号 令和2年度川西市用地先行取得事業特別会計補正予算（第2回）

<p>議案の概要 土地売却収入の増額による減債基金への積立金の増額及び市債の減額などにより、歳入歳出予算にそれぞれ1億9597万1000円を追加し、予算額を9億5409万8000円にしようとするもの。</p>
<p>質疑の概要 なし</p>
<p>特記事項 なし</p>
<p>審査結果 原案可決（全員賛成）</p>